

令和5年度 ふじみ野市立東原小学校保護者・地域説明会

ふじみ野市立東台小学校の 小規模校課題解決の方針について

令和5年12月17日（日）

ふじみ野市教育委員会学校教育課

説明の項目

1 これまでの経過と主な内容

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

3 今後のスケジュールとお願い

4 方針に対する保護者アンケートのご要望



ふじみ野市PR大使「ふじみん」

今日の説明会は・・・

学校・家庭・地域が、
子どものために

さらに強力に手をつなぎ、心をつなぐきっかけ
となることを目指します。

明日以降：

今まで以上に熟議・つながり・行動を！

お願いできたらと考えています。

Ⅰ これまでの経過と主な内容

R4.7～R5.12

児童
保護者
教職員
地域
意見
願い

R5.9～12

教育委員会
議

諮問・議決

R6.1～2 4回

学区審議会

諮問

児童保護者・教職員・地域の意見等

答申後、学区の
最終決定(R6.3)

教育長

教育委員会
議

答申

1 これまでの経過と主な内容

令和4年

- 7月25日(月) 臨時学校運営協議会
- 8月22日(月) 学校運営協議会(全教職員参加)
- 8月31日(金) 第1回地域懇談会
- 9月30日(金) 第2回地域懇談会
- 10月21日(金) 第3回地域懇談会
- 11月25日(金) 臨時PTA本部会議開催
- 11月30日(水) 第4回地域懇談会
- 12月15日(木) 保護者・地域説明会 事前アンケート実施
- 12月20日(火) 市議会からの提言



12月 「ふじみ野市立東台小学校の児童数減少に関することについて」
東台小学校児童「東台小学校の良いところ・困りごと」調査実施

Ⅰ これまでの経過と主な内容

令和5年

- 1月22日(日) 第1回保護者・地域説明会開催
- 1月25日(水) 保護者・地域説明会 事後アンケート実施
- 1月30日(月) 地域懇談会視察 八潮市立八條北小学校(小規模特認校)
- 1月30日(水) 第5回地域懇談会
- 5月21日(日) 第2回保護者・地域説明会開催
- 7月10日(月) 東台小学校PTA打合せ会議
- 7月30日(日) 東台小学校保護者学校適正規模勉強会
- 8月 1日(火) 投稿フォームによる保護者・地域意見募集開始
- 9月 3日(日) 第1回保護者意見交換会
- 9月20日(水) 第2回保護者意見交換会
- 9月26日(金) 教育委員会会議 協議「ふじみ野市立東台小学校の小規模校課題解決について」
- 10月13日(金) 第3回保護者意見交換会
- 10月23日(月) 第4回保護者意見交換会
- 10月24日(月) 教育委員会会議 協議「ふじみ野市立東台小学校の小規模校課題解決について」
- 11月10日(金) 教育委員会会議 議題「ふじみ野市立東台小学校の小規模校課題解決の方針について」
- 11月21日(火) 総合教育会議 案件名「ふじみ野市立東台小学校の小規模校課題解決の方針について」
- 11月21日(火) 教育委員会会議 議題「ふじみ野市立東台小学校の小規模校課題解決の方針について」
- 12月17日(日) 東台小学校保護者・地域説明会

1 これまでの経過と主な内容

ふじみ野市が目指す教育の姿

基本理念：「あったかな絆で育む『共育』を目指して」

【小規模校課題解決において大切にしてきたこと(していくこと)】

- ・東台小に通い、慣れ親しんだ児童・保護者の気持ちや思いを把握すること
- ・児童の将来
- ・質の高い教育を実現(質は人、指導・支援する人、環境整備)

Ⅰ これまでの経過と主な内容

児童の気持ち（学校訪問、学校との対話、アンケート等）

【困っていること】

友達が少ない。あまり人から声をかけられない。

苦手な人とずっと一緒。1組しかなくクラス分けがない。

掃除の友達が少ないから増えてほしい。掃除が大変。

委員会やクラブが少なく寂しい。鬼ごっこがすぐ終わる。

運動会や音楽会が小規模、一人の役割が多くて大変。

中学校で、多人数に慣れない・友達作りが大変。

人数が少ないことで意見があまり出ない。

1 これまでの経過と主な内容

保護者の気持ち（地域懇談会、PTA本部会、意見交換会等）

仲良く過ごしている、手厚い指導（少人数）に感謝。

充実した施設設備の存続希望。異性に話しかけるのが苦手。

学区再編で学年2～3学級になれば東台小がよい。

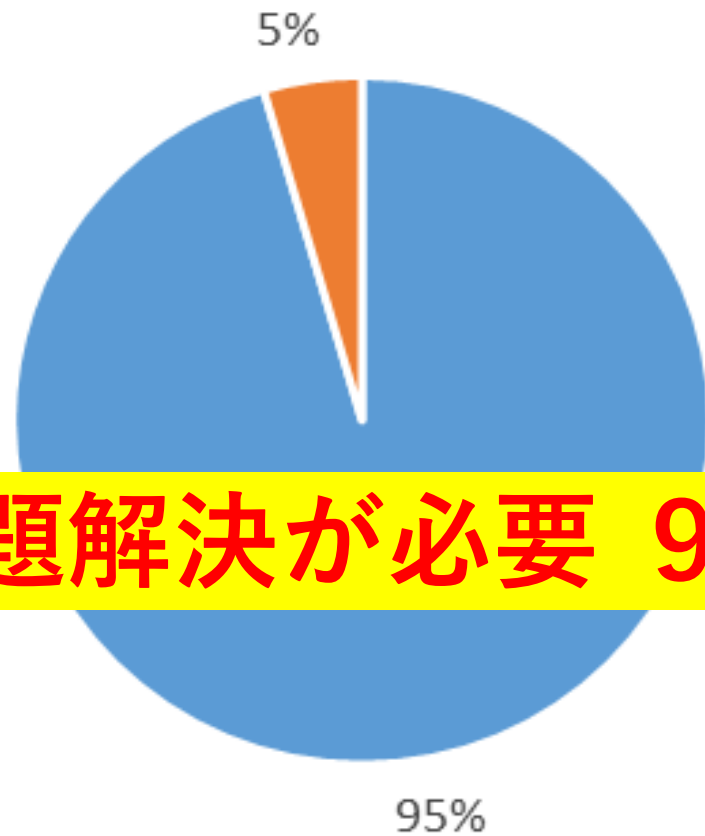
統合し大人数で参加する行事の楽しさを味わわせたい。

少人数は、コミュニケーション力、競争心が学べない。

少人数は、社会性に不安、多様な体験ができるのか？

1月説明会後アンケート

東台小在校生の保護者;

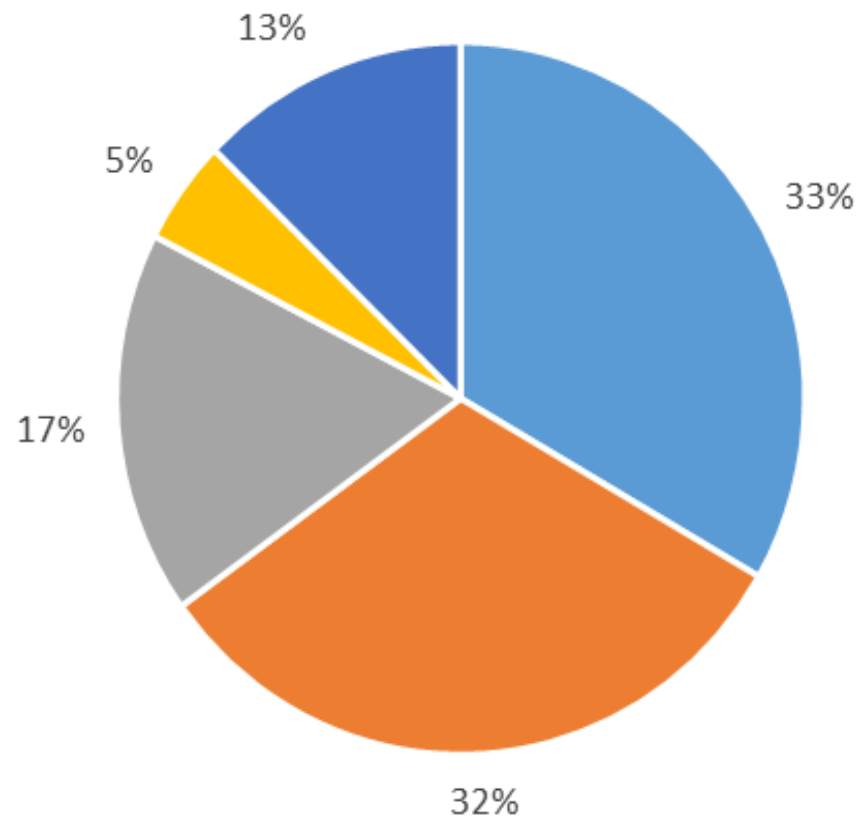


課題解決が必要 95%

■ 必要である ■ 必要ではない

学区再編と東原小統合 それぞれ3割超

東台小在校生の保護者;



■ 通学区域の変更(再編) ■ 東原小学校との統合 ■ 小規模特認校制度 ■ 小中一貫校 ■ その他

1 これまでの経過と主な内容

児童を未来へ届ける

多様性に触れ

一定規模の集団

コミュニケーション力

教科担任制

情報活用能力

主体性・自立・自律

多様な価値観

協働して課題解決

豊かな人生

習熟度別学習

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

課題解決方針の選択肢（教育委員会）

- ・小規模特認校制度
- ・学区再編
- ・小中一貫校
- ・東原小と統合

9～10月の保護者意見交換会を踏まえ

- ・特認校と学区再編の組合せ
- ・東台東原自由選択制
- ・特認校にして移行期間を設定

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

協議・審議を続けたが結論まで至らなかった課題解決方針

- ・小規模特認校制度
- ・学区再編
- ・小中一貫校

小規模校の課題解決策について

【小規模特認校制度】

内容	課題・留意点	保護者・地域からの主な意見
<p>少人数を活かした、きめ細やかな指導や特色ある教育活動を展開する小規模校について、教育委員会が小規模特認校と指定し、児童や保護者が「このような環境で学びたい、学ばせたい」と希望する場合、学区を超えて市内全域から特別に児童の入学を認める制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学区外から多くの児童の入学は見込まれないため、クラス替えが可能となる児童数を確保することができず、小規模校の課題解決を図れない恐れがある。 ・通学区域が広範囲になるため、児童・保護者の通学の負担が発生する。 ・学区外から通学している児童にとって、住んでいる地域での交友関係が希薄になりやすい。 ・東台小学校の児童は、他の学校を選ぶことはできず、不公平感が生じる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前までに東原小学校と統合してくれればと思っていたが、入学後に通学先が変わる事を子どもは望んでいない。しかし、小規模特認校制度を導入しても人数が増えず、高学年になってから東原小学校と統合となることは避けてほしい。 ・指定校に不満がなければ、あえて東台小学校に通学したいとは思わないのではないか。

小規模校の課題解決策について

【学区再編】

内容	課題・留意点	保護者・地域からの主な意見
<p>教育委員会で定める東台小学校の通学区域を変更することにより、学校規模の適正化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えが可能となる児童数を確保するため、通学区域が広範囲となり、通学において児童の負担が生じる。 ・学区再編の対象となる広範囲の地区の児童や保護者、地域住民の理解や合意形成を図る必要があり、小規模校の課題解決を早期に図ることが困難となる。(合意形成にかなりの時間を要する場合があると同時に、合意が得られない場合もある。) ・在籍児童に対する経過措置や兄弟姉妹がすでに在籍している児童への配慮が必要があり、一定の期間は同じ区域から別の学校に通学する事態が生じることから小規模校の課題解決の実現が長期化する恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数だからこそ先生が目が行き届いていると思う。しかし、1クラスが20人を下回り、男女の人数差が出てしまうのは心配。学区を広げて、児童数を増やしてほしい。 ・今後、東原小学校と統合すると更に児童数が増え、先生の指導が行き届きにくくなるのではないかと。東台小学校の施設は素晴らしい環境なので、学区再編していくのが良いと思う。 ・東台小学校と東原小学校の学区を再編すれば、児童数を平準化できるのではないかと。

小規模校の課題解決策について

【小中一貫校】

内容	課題・留意点	保護者・地域からの主な意見
<p>小・中学校の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の児童生徒数は増加するが、1学年当たりの児童数の増加は見込まれないため、小規模校の課題解決を図れない恐れがある。 ・人間関係の硬直化が解消されない。また、その状況がさらに長期化する。 ・小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感がなくなる可能性がある。 ・小学校と中学校の組織文化、習慣の違いが大きく、その調整に時間がかかる。 ・小学校から中学校への接続がスムーズに行われるが、中学校卒業後の環境変化に対応できない生徒が出てくる可能性がある。 ・小学校高学年(特に最高学年である6年生)にとって活躍の場が少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の児童数の推計を見ると不安を感じる。小規模特認校制度の導入と共に、小中一貫校を実現してほしい。 ・小中一貫校の単独案では、少人数の学級で生じる問題を解決できないと思うが、小規模特認校や学区再編の手段と組み合わせて実施してはどうか。大井中学校の学区は広く、片道徒歩30分以上かかるご家庭もあると思うので、そのような方のニーズはあると思う。

小規模校の課題解決策について

- クラス替えには、1学年当たり**36人以上**、
- 小学校全体では**216人以上**の児童の在籍が必要

①小規模特認校制度

課題

県内自治体を参考にすると、本市の課題解決に至る児童数増加には及ばない。→→解決が難しい

②東台小学校の学区再編(拡大)

課題

36人以上の児童数を確保するために想定される学区範囲が広大となる。→→解決が難しい

③小中一貫校

課題

全校の児童生徒数は増加するが、固定化した人間関係が続くことになる。→→解決が難しい

小規模校の課題解決策について

【学校統合】

内容	課題・留意点	保護者・地域からの主な意見
<p>東台小学校と東原小学校を統合し、学校規模の適正化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・学習環境が大きく変化するため、統合前に交流授業等の準備期間を設けることや、統合後にアンケートや面談の実施など、児童に寄り添った対応が必要となる。・一部の児童は通学距離が長くなる。・地域コミュニティの核としての機能を持つ学校がなくなる。	<ul style="list-style-type: none">・東台小学校は、東原小学校の児童数の増加を解決するためにできた小学校なので、児童数が減っている今、統合するのが1番だと思う。・東原小学校との統合を希望するが、マンション建設により今後子どもが増えると思うので、慎重に調査してほしい。小学校を卒業した後、同じ大井中学校に進学することから友達関係もスムーズに行くのではないかと。・転校する東台小の児童にとって大きなストレスとなる。児童目線での対応が必要である。合同の林間学校や総合的な学習や特別活動の時間を利用して、両校の児童の交流を促進してはどうか。

小規模校の課題解決策について

- クラス替えには、1学年当たり**36人以上**、
- 小学校全体では**216人以上**の児童の在籍が必要

☆東原小との統合

児童数は増加し、クラス替えも可能である。
児童の将来推計は、700人前後で推移が見込まれる。
コミュニケーション力を向上する。
担任1人→学年の複数の教員で児童の新たな可能性を引き出す。
今以上に、質の高い教育を実現する。

総合教育会議(11/21)
市長より早期解決には
統合を進める必要がある

課題

子供たちが新しい環境、人間関係に馴染めるよう配慮
教職員の異動や学級編制の配慮、交流授業等のサポート体制

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

方針に至るまで

東台小の児童数将来推計

→ 100人を下回るような状況が継続する

小規模校のデメリット影響

→ 大きな集団への適応力に課題、高い不登校出現率

子供たちの健全な成長を図ることを最優先

→ 早期に東原小との統合により、適切な学校規模の教育

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

令和5年9月26日、10月24日、
11月10日、11月21日の協議・審議

令和7年4月1日から

東台小学校を東原小学校に

統合する方針を定める

2 ふじみ野市教育委員会議の方針

具体的には・・・

現4年生が6年生進級時、

全学年統合、通常学級1学級増、

701人、24学級の東原小になる

3 今後のスケジュールとお願い

保護者の皆様へ御協力をお願い

令和5年12月18日（月）学校朝会

校長先生から児童へ説明→各担任からの話

親子の会話の中で、統合に向けてのお子様
の素直な気持ちを大切にしてください、心配な
ことがございましたら、学校の担任の先生や
投稿フォームをお願いいたします。

3 今後のスケジュールとお願い

学区審議会(ふじみ野市立小・中学校学区審議会条例)

【第1条】

市立小・中学校の
通学区に関し
必要な調査・審議

答申に、諮問に関連する
学区審独自の附帯意見を
盛り込むことも可

【第2条】

- (1) 児童及び生徒の保護者
- (2) 市内小・中学校長代表
- (3) 地域の代表
- (4) 学識経験者

20人以内

3 今後のスケジュールとお願い

令和6年1月～2月 4回開催予定

東原小・東台小・大井中合同の学区審議会

1 2月20日（水）教育委員会会議で学区審議会委員決定

各学校の保護者代表として審議委員を委嘱予定です。

保護者の皆様には、統合に向けたご意見等を審議委員の皆様へ届けていただくようお願い致します。

皆様へ交流活動のお願い



令和7年4月東台小を東原小に統合した未来の姿へ

4 方針に対する保護者アンケートのご要望

児童への心のケアや見守り 教職員の負担軽減を実施するための人員配置

- 東原小学校に他の小学校には設置されていないスクールカウンセラーを常駐させた相談室を設置し、児童の不安に対応していく。
- 学校統合後、県より教職員の追加配置を要請
- 少人数指導支援員、学び育ちサポーター、教員業務支援員、特別支援学級介助員を追加で配置予定(現在の東原小より大幅増)

放課後児童クラブについて(子育て支援課)

- ・希望されている方が**全員入室**できることを前提に、現在、子育て支援課と協議を進めております。
- ・令和7年4月の統合に向けて、東原小に**新たな放課後児童クラブ**の増設を検討しております。

統合後の東原小学校学級数 及び利用可能教室数

28教室
整備可能

(単位：学級、人)

年度	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	通常 合計	特別 支援	合計	統合前 東原小学校	増加数	
R7	学級数	4	3	4	4	3	4	22	2	24	23	1	
	児童数	126	102	106	125	105	123	687	14	701	602	99	
R8	学級数	4	4	3	4	4	3	22	2	24	22	2	
	児童数	118	126	102	106	125	105	682	15	697	595	102	
R9	学級数	3	4	4	3	4	4	22	2	24	22	2	
	児童数	100	118	1	102	106	125	677	15	692	587	105	
R10	学級	105人÷35人=3学級 106人÷35人=4学級 1名増減で学級数が 変動する。					3	4	22	2	24	21	3
	児童				102	106		663	15	678	580	98	
R11	学級				4	4	3	22	2	24	22	2	
	児童数	129	111	1	118	126	102	686	15	701	605	96	

統合後の1クラス当たりの平均児童数 及び平均児童増減数

1クラスあたり平均児童数 (単位：人)

年度	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
R7	学級数	-	-	-	-	-	-
	児童数	32	34	27	31	35	31
R8	学級数	-	-	-	-	-	-
	児童数	30	32	34	27	31	35
R9	学級数	-	-	-	-	-	-
	児童数	33	30	32	34	-	31
R10	学級数	-	-	-	-	-	-
	児童数	28	33	32	34	-	-
R11	学級数	-	-	-	-	-	-
	児童数	32	28	33	30	-	34

学年全体の児童数により、学級数・1クラス当たりの児童数が増減します。

1クラスあたり平均児童数増減 (単位：人)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
-	-	-	-	-	-
4	4	-2	4	6	4
-	-	-	-	-	-
-4	4	4	-2	4	6
-	-	-	-	-	-
7	-4	4	4	-2	4
-	-	-	-	-	-
-5	7	-4	4	4	-2
-	-	-	-	-	-
4	-5	7	-4	4	4